



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月12日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 徳也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理統括 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203
兼リスクマネジメント担当
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	18,804	16.4	△64	—	105	△61.4	△215	—
2023年2月期第1四半期	16,161	21.3	△325	—	274	—	△618	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 △310百万円(—%) 2023年2月期第1四半期 △752百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	△10.88	—
2023年2月期第1四半期	△31.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	49,850	7,742	15.1
2023年2月期	46,917	8,138	16.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 7,523百万円 2023年2月期 7,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	86,200	18.6	4,000	371.0	2,700	104.8	600	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期1Q	19,768,825株	2023年2月期	19,768,825株
2024年2月期1Q	2,052株	2023年2月期	1,919株
2024年2月期1Q	19,766,867株	2023年2月期1Q	19,767,062株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「こどもたちの夢を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスを掲げ、企業価値向上の実現と持続可能な社会への貢献に向け、事業活動を推進しております。

当第1四半期連結累計期間(2023年3月1日~2023年5月31日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高が188億4百万円(前年同期比16.4%増)となりました。営業損失は64百万円(前年同期営業損失3億25百万円)、経常利益は1億5百万円(前年同期経常利益2億74百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億15百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失6億18百万円)となりました。各国為替レートが円安に進み、為替差益を2億28百万円計上したことにより連結経常利益は黒字となりました。

国内事業は、マスクの着用緩和や新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行されるなど社会経済活動の正常化に伴い、業績は堅調に推移いたしました。新業態の開発や、戦略的小型店の積極的出店、機械投資の再開などの取り組みを進めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は149億2百万円と前年同期を上回りました。

中国事業は、当第1四半期連結累計期間における営業利益が前年同期より1億44百万円改善いたしました。前第1四半期連結累計期間に店舗休止損失約5億円を特別損失に計上したことを含めると、営業利益は実質6億43百万円の改善となりました。

アセアン事業は第1四半期連結累計期間としては過去最高の売上高を更新いたしました。営業利益は5ヶ国中4ヶ国が黒字となり、四半期連結会計期間では5期連続で営業黒字となりました。

店舗数については、当第1四半期連結累計期間での新規出店62店舗、閉店15店舗となり、2023年5月末時点で国内656店舗、海外435店舗、合計1,091店舗(直営店1,080店舗、F C等11店舗)となりました。

(国内事業)

国内事業は好調のプライズ部門でお子さま向けのキッズプライズ展開を強化し、プライズ部門の当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年同期比は106.6%と売上を牽引いたしました。コロナ禍で回復が遅れていたメダル部門では、3年ぶりに新規機械投資を行いました。「桃太郎電鉄」「ホリアテール」を100店舗以上へ投入し、メダル部門の当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年同期比は123.5%と回復が鮮明になりました。

新たなチャレンジとして、3月には東京ソラマチに新業態プレイグラウンド「ちきゅうのにわ」をオープンいたしました。「ちきゅうで遊ぶ」をコンセプトに開発した内装や遊具、スタッフの接客が高い評価を受けております。4月には、当社が小学生対象の学童などを誘致しプロデュースした「子育て応援キッズフロア」をイオンモール柏にオープンいたしました。また、「ららぽーと湘南平塚」にスキッズガーデンの単独店舗を初出店し、いずれもお客さまから高い支持を受けております。

カプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」を当第1四半期連結累計期間において新規に31店舗出店し、累計店舗数は183店舗となりました。カプセルトイ部門の第1四半期連結累計期間の売上高前年同期比は128.2%(2019年同期比632.4%)と大幅に伸長しております。

プライズ専門店「PRIZE SPOT PALO」はグループ内外の物件に新規出店を行い、当第1四半期連結累計期間において新規15店舗出店し、累計店舗数は43店舗となりました。

当第1四半期連結累計期間はモーリーファンタジーを2店舗出店、その他カプセルトイ専門店とプライズ専門店を計46店舗出店、新業態を2店舗出店する一方、不採算店舗等3店舗を閉店し、2023年5月末では656店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高149億2百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益2億3百万円(前年同期営業利益44百万円)となりました。

(中国事業)

中国事業は、経済活動の再開が進み客数の回復が顕著となりました。トークン販売のお得なキャンペーンや、玩具のオンライン販売、ROIが高い戦略的小型店の出店を行なった結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年同期比は176.8%となりました。

当第1四半期連結累計期間は、直営3店舗を新規出店する一方、不採算店舗等8店舗を閉店し、2023年5月末の店舗数はFC6店舗を含め190店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高14億47百万円（前年同期比84.9%増）、営業損失5億58百万円（前年同期営業損失7億2百万円）となりました。

(アセアン事業)

アセアン事業では各国でコロナ禍が収束しつつあり、当社の強みでもある「店舗の内装・遊具の品質の高さ」に加え、「こども目線で一緒に遊ぶスタッフの接客力」を強化し競合との差別化を図りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高前年同期比は134.6%となりました。全ての国において前第1四半期連結累計期間を上回り、第1四半期連結累計期間としては過去最高の売上高となりました。

当第1四半期連結累計期間は、9店舗を新規出店する一方、不採算店舗4店舗を閉店し、2023年5月末の店舗数はFC5店舗を含め245店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高25億2百万円（前年同期比34.6%増）、営業利益2億90百万円（前年同期営業利益3億33百万円）（※1）となりました。

（※1）フィリピンでは前第1四半期連結累計期間の営業利益において、コロナ影響による家賃減免効果が約70百万円発生しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、121億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億72百万円増加いたしました。主な内訳は、棚卸資産の増加（3億78百万円）、現金及び預金の増加（3億21百万円）、流動資産その他（前払費用）の増加（1億75百万円）、売上預け金の増加（1億34百万円）であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、377億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億60百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加（11億45百万円）及び建物の増加（4億98百万円）であります。

この結果、総資産は498億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億33百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、362億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億91百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加（29億48百万円）、設備関係支払手形の増加（15億17百万円）、未払法人税等の減少（4億3百万円）であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、58億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億61百万円減少いたしました。主な内訳は、連結子会社における長期借入金の減少（3億7百万円）及びリース債務の減少（1億48百万円）、長期割賦未払金の減少（1億42百万円）であります。

この結果、負債合計は421億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億29百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、77億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億95百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(2億15百万円)、剰余金の配当による減少(98百万円)、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の減少(1億12百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月12日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,081,975	6,403,469
売掛金	248,227	235,700
売上預け金	734,050	868,617
棚卸資産	2,156,417	2,534,934
その他	1,621,847	2,072,491
流動資産合計	10,842,517	12,115,213
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,902,698	5,401,622
遊戯機械（純額）	16,202,773	17,348,454
使用権資産（純額）	3,519,085	3,507,733
その他（純額）	1,970,684	1,997,357
有形固定資産合計	26,595,241	28,255,168
無形固定資産		
のれん	135,035	134,481
ソフトウェア	1,299,155	1,343,998
その他	4,685	4,511
無形固定資産合計	1,438,876	1,482,992
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,601,768	4,545,824
その他	3,438,903	3,451,788
投資その他の資産合計	8,040,671	7,997,612
固定資産合計	36,074,789	37,735,772
資産合計	46,917,307	49,850,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,432,864	1,394,450
短期借入金	19,542,050	22,490,350
1年内返済予定の長期借入金	1,307,274	1,295,637
1年内返済予定の長期割賦未払金	566,324	567,988
リース債務	2,018,731	1,996,878
未払費用	1,690,766	1,932,155
未払法人税等	658,746	255,258
賞与引当金	495,106	697,384
役員業績報酬引当金	32,128	12,778
閉店損失引当金	190,757	206,643
設備関係支払手形	1,478,985	2,996,862
その他	2,940,795	2,399,248
流動負債合計	32,354,531	36,245,636
固定負債		
長期借入金	1,025,655	718,463
長期割賦未払金	1,641,144	1,498,522
リース債務	2,504,862	2,356,400
退職給付に係る負債	115,567	111,992
資産除去債務	941,623	991,627
その他	195,569	185,734
固定負債合計	6,424,423	5,862,741
負債合計	38,778,955	42,108,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,806,987	1,806,987
資本剰余金	4,825,630	4,825,630
利益剰余金	1,902,889	1,588,968
自己株式	△4,176	△4,635
株主資本合計	8,531,331	8,216,950
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△568,301	△680,596
退職給付に係る調整累計額	△17,204	△13,174
その他の包括利益累計額合計	△585,506	△693,770
新株予約権	31,437	45,612
非支配株主持分	161,089	173,816
純資産合計	8,138,352	7,742,609
負債純資産合計	46,917,307	49,850,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	16,161,015	18,804,748
売上原価	15,004,727	17,245,402
売上総利益	1,156,287	1,559,346
販売費及び一般管理費	1,481,971	1,623,348
営業損失(△)	△325,683	△64,002
営業外収益		
受取利息	15,688	17,144
為替差益	680,290	228,415
受取保険金	4,170	11,645
固定資産売却益	141	406
預り金受入益	3,961	565
リース解約益	19,615	30,515
増値税還付金	1,103	8,618
その他	46,101	12,035
営業外収益合計	771,073	309,346
営業外費用		
支払利息	162,052	126,342
固定資産売却損	2,136	6,328
その他	6,560	6,727
営業外費用合計	170,749	139,398
経常利益	274,639	105,946
特別利益		
雇用調整助成金	895	—
特別利益合計	895	—
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	7,676	49,509
減損損失	44,976	25,589
店舗閉鎖損失	5,445	2,189
店舗休止損失	521,850	—
特別損失合計	579,949	77,287
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△304,414	28,658
法人税、住民税及び事業税	185,781	178,116
法人税等調整額	104,216	61,592
法人税等合計	289,998	239,708
四半期純損失(△)	△594,412	△211,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,915	4,036
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△618,327	△215,086

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純損失(△)	△594,412	△211,050
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△163,022	△103,603
退職給付に係る調整額	5,079	4,030
その他の包括利益合計	△157,942	△99,573
四半期包括利益	△752,354	△310,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△779,642	△323,351
非支配株主に係る四半期包括利益	27,287	12,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り：固定資産の減損)に記載した中国の新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はございません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,519,097	782,919	1,858,998	16,161,015	—	16,161,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	575	—	—	575	△575	—
計	13,519,672	782,919	1,858,998	16,161,590	△575	16,161,015
セグメント利益又は損失(△)	44,040	△702,901	333,191	△325,669	△14	△325,683

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間に、「国内」セグメント929千円、「中国」セグメント44,047千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,854,118	1,447,634	2,502,994	18,804,748	—	18,804,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48,094	—	—	48,094	△48,094	—
計	14,902,213	1,447,634	2,502,994	18,852,843	△48,094	18,804,748
セグメント利益又は損失(△)	203,727	△558,153	290,473	△63,952	△50	△64,002

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間に、「国内」セグメント1,086千円、「中国」セグメント11,895千円、「アセアン」セグメント12,607千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。